

旭川通信

長らくご無沙汰いたしております、西越です。私が THMS を卒業して早 4 年半、数多の試験を乗り越えて、この度晴れて旭川医科大学を卒業するところが出来ました。そして国家試験が 2 月 9.10.11 日に行われました。試験初日の朝、目覚めると腕時計が 1 時で止まっており、あり得ないタイミングでの電池切れに焦りましたが何とか乗り切り、結果はそこそこの出来栄でした。医師国家試験がどんなものかなんて興味ないかもしれませんが、折角受けてきたのでちょっと様子をお話します。今回は第 107 回で、全国で約 8700 人程が受験しています。北海道会場では北大、札医大、旭医大の 3 校の学生が主に受験し、300 人程でした。厚生労働省のお役人様が 40 人に一人担当として付き、試験開始約 50 分前には集合し長々と説明を聞き、携帯電話は所定の封筒に入れ所定の場所に置く、カバン、衣服は椅子の下・・・等のルールに従い、ティッシュを使用する際は机の上に出し一枚ずつ確認してもらってから使用し、目薬は周囲に紙を貼って効能書きが見えない状態にして使用し、トイレに行く際はお役人一人が机の前を監視している間にもう一人に連れられてトイレに行き、後ろで観察されながら用を足すという徹底ぶりです。3 日間で全 9 パート、500 問、15 時間以上の長丁場で大変疲れました。3 月 19 日に合格発表があります。結果の如何にかかわらずご連絡させて頂こうと考えていますので、今しばらくお待ちください。

国家試験前はさすがに精神的に追い込まれていたのか、耳鳴りと難聴で病院にかかりました。問題なかったのですが、知らず知らず疲弊していたのだと思います。試験が終わって直ぐ、同級生 7 人と卒業旅行でタイのプーケットに行きました。30 過ぎて卒業旅行っていうのも感慨深いものでしたが、獣医の大学を卒業したときは卒業旅行に行かなかったのが、7 人で一緒に旅行行く仲間ができたことは正直驚きです。プーケットは小さな町ですけど、世界的に有名な場所というのも納得できる楽しさでした。24 時間眠らない感じで、世界中の人がいて、すごい混沌とエネルギーでした。あのエネルギーは絶対日本では感じられないです。プーケットでは今ポールダンスが流行っているみたいでした。オカマさんがかなり沢山いらっちゃって、歩いていると手を引いてウインクして来たりします。東南アジアを旅行して病気にかかって帰るのは簡単だと思いました。物価も安いし食べ物はたいてい美味しいしです。帰ってから妻とケアンズに行って来ました。これまた小さな町なのに有名な場所ですが、最高に楽しかったです。浜辺で南十字星を見ながら飲んだビールは忘れられないです。グレートバリアリーフで海ガメと一緒に泳いだり出来ました。牛乳は圧倒的に日本のほうが美味しかったです。随分バカンスしとるやんけと言われそうです。残念ながらこれが最後になるだろうと覚悟をしています。とは言え、この 4 年半、大変貴重な経験をし、また新たな分野に挑戦し勉強する機会を得たことは幸せでした。これをベースに今後は際限なく昇進して行かなければならないわけですが、期待と不安でいっぱいです。

結果に問題なければ 4 月から室蘭の日鋼記念病院に就職することに決まりました。ここで 2 年間初期研修を行い、その後大学に戻って何年か、その後は大学の人事にお任せ状態でしばらく移動することになると思います。4 年目あたりに遠軽厚生病院行けたらいいなと思っています。その時は少し足を伸ばして遠軽までお腹見せに来て下さい。丹精込めて腸切ったり繋いだりさせて頂きます。以上近況報告でした。ここ数ヶ月勉強しかしてないので面白い話も何もないですが、それでは皆さんお元気で。

